



製品仕様・取扱説明書  
手動バタフライバルブ Z シリーズ

本製品を正しくご使用いただけますよう本書を最後までよくお読みください。

概要

配管システムのバイパス弁、元弁に最適。

電動操作機、エア作動操作機を取り付けることが出来、容易に自動弁に変更可能。

操作方式

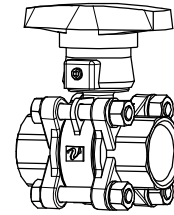
プッシュレバー

バルブ

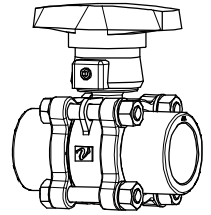
Z シリーズ さまざまな用途に使える小口径バタフライバルブ。

耐腐食、耐付着性に優れた PPS 製弁体を採用。

3ピース構造でメンテナンス性が抜群です。



ねじ込み形



ソケット形

製品コード

Z シリーズ	ねじ込み形	MACZ - Y - 5 T U	□	-	□	-	□
	ソケット形 (PVC)	MACZ - Y - 7 T P	□	-	□	-	□
	(C-PVC)	MACZ - Y - 7 T H	□	-	□	-	□
		(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)			(9)		(10)
(1) 操作機型式		(6) 本体材質		(10) オプション			
MAC		T : SCS13A					
(2) 弁型式		(7) キャップ材質					
Z-		U : SCS14A					
(3) 操作方式		(7) ソケット材質					
Y : プッシュレバー		P : PVC					
		H : C-PVC					
(4) ハイフン		(8) シート材質					
		E : EPDM					
(5) 接続規格		B : NBR					
5 : Rc ねじ込み形		V : FKM					
7 : ソケット形		(9) 呼び径 [A]					
		ex. 25 A → 025					

バルブ仕様

冷温水
 油
 気体
 蒸気
 化学薬品
 海水
 スラリー
 負圧条件

弁型式	Z	
本体形状	3ピース構造	
接続規格	ねじ込み形 Rc	ソケット形
適用流体		
最大圧力	1 MPa	
呼び径 [A]	15 ~ 50	
弁材質	本体	SCS13A
	弁体	PPS 樹脂
	キャップ	SCS14A
	ソケット	-
	シート	EPDM NBR FKM
ステムシール	O リング	選定したシートと同じ材質となります

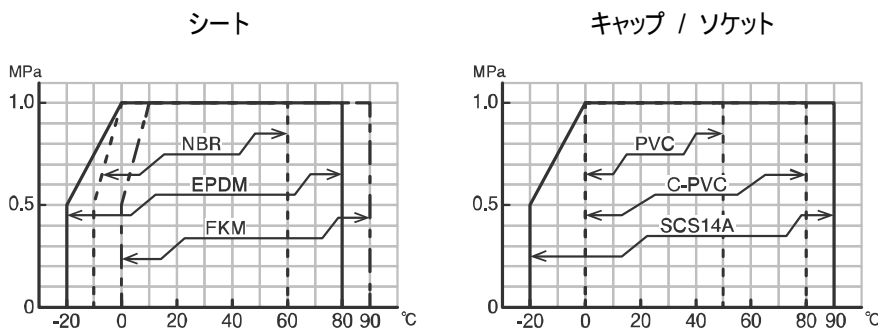
シート材質選定表

シート材質	流体温度	用途
EPDM	-20 ~ +80 °C	
NBR	-10 ~ +60 °C	
FKM	-0 ~ +90 °C	

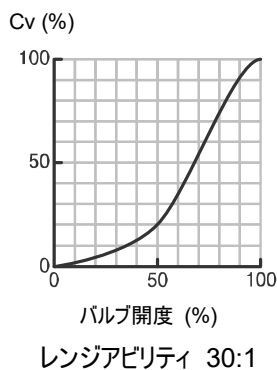
注意
 

- EPDM 製シート及び O リングは油脂類には使用できません。
- 温水は 80 °C までとし、蒸気には使用できません。
- 海水に使用する場合は PVC 製ソケットと EPDM 製シートの組合せを選定してください。

使用圧力と温度範囲



固有流量特性



## 手動弁取扱注意事項

### ご使用にあたって

- ①運送上の注意  
丁寧に取り扱い、落としたり、投げ下ろしたりしないでください。
- ②保管上の注意  
・長期又は一時保管の場合は梱包のまま整理して保管してください。直射日光が当たる場所、ほこりの多い場所、水滴がかかる場所は避け、製品に無理な力が加わらないようにしてください。  
・配管ポートの防塵キャップは配管するまで外さないでください。
- ③製品の確認  
据え付け前に、必ず製品仕様、製品型式が正しいか、確認してください。

### 手動弁の取付け

- ①配管の注意  
・バルブを接続する前に、配管内に異物（溶接スパッタ、さび、スケール、砂等）が残存しないように清掃してください。  
・取り付けの際は弁体を閉状態にしてください。  
・EPDM シートのバルブを使用する場合は、シート面に機械油、鉍物系グリスが付着しないようにしてください。
- ②ねじ込み形  
・ねじ切り過ぎたパイプの使用はバルブを破損させる恐れがあります。  
・シールテープやシール剤がバルブ内部に侵入すると弁座漏れや作動不良の原因となります。  
・管や継手のバルブへの接続は、挿入する側の八角または六角部に工具をかけてねじ込んでください。  
・締付けは下表の適正トルクを目安とし、過大なトルクを掛けないでください。

呼び径 [A]	トルク [N・m]
15	25 ~ 35
20	40 ~ 50
25	50 ~ 60
32	60 ~ 80
40	75 ~ 85
50	90 ~ 110

### ③ソケット形

- ・接着剤は、バルブ材質に応じ適切なものをご使用ください。
- ・接着剤メーカーの接着方法、注意事項に従い接着してください。

### ④取付け環境

流体または製品の作動部が凍結するおそれがある場合は、凍結防止策を施してください。

### ⑤取付け姿勢

取付け姿勢は正立から横向きまでとし、逆立は避けてください。製品の周辺には、手動操作、点検、交換作業が行えるスペースを設けて下さい。

### 手動操作

レバーを押し下げながら開閉操作を行ってください。  
過大な力をかけますと、レバーが破損することがあります。

### 保守・点検

- ・使用状況、環境に応じ、定期的に点検を行ってください。
- ・通常半年に一度下記に従って行ってください。

#### 点検内容

- ・開閉の動作に異常はないか
- ・ねじ類の緩みの有無
- ・バルブのステム周りからの漏洩の有無
- ・流体温度、使用圧力の確認

### 故障と処置

製品が正常に作動しない場合は、下記項目で調査、点検をしてください。原因が不明、部品交換、修理が必要な場合は、その状況をご連絡ください。

故障状況	原因	処置
中間位置で止まる	シートに異物の噛み込み	開閉動作を繰り返し、異物を除去する
バルブ内部(シート)から漏れる	シートの摩耗、又は永久変形	バルブを交換する
ステム部から漏れる	パッキンが摩耗した	

バルブを交換する場合、不明な点は、当社までお問い合わせ、又は交換要領書をご請求ください。